

□発行所/福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931
西日本鉄道労働組合
□編集発行者/渡辺裕二
定価 1部 30円 送料共
(この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。)

西鉄組合新聞 8月号

○山本自動車対策部長/D項目
「交通政策の取り組み」について質問する。私鉄交通政策自治体議員会議などとの連携を強化しながら、バリアフリー対応バスの導入促進などに取り組むあるが、その一方で、

（要旨）
「2015年度運動方針決定について」に関する質疑応答

①恒久平和の実現をめざす平和宣言について
②その他

③2015年度予算の決定について
④本部籍役員選出審査委員の選出について
⑤第24回参議院比例代表選挙

「森屋たかし」私鉄総連組織内候補必勝に向けた決議について

⑥恒久平和の実現をめざす平和宣言について
⑦大会宣言について
⑧その他



◆総連 池之谷交通政策局長／連携強化の一環として、自治体議員団向けに特化した交通政策の学習会などを開催して、また走行環境改善に向けてどのように考へているのか、お聞かせ願いたい。

○坂本分会長(筑紫乗務)／第三者暴力行為の件数が、大手民鉄16社では増加しているのに対してタクシー業界では車内防犯カメラの設置などにより減少している。これは、防犯カメラの存在が社会的に認知されたことによるところが大きいと考えられる。そのため、今後、改札口やホームに防犯カメラを設置しても、その存在が社会的に認知されなければ抑止力は高まらないと思われる。様々な問題があると思うが、抑止力を高めるために総連としての考えがあればお聞かせ願いたい。

◆総連 池之谷交通政策局長／第三者暴力行為防止ポスター掲示や警察などと連携し、警備強化を進め。抑止力を高めるため、引き続き車内防犯カメラの設置など国土交通省に要請していく。

○山本自動車対策部長/D項目「交通政策の取り組み」について質問する。私鉄交通政策自治体議員会議などとの連携を強化しながら、バリアフリー対応バスの導入促進などに取り組むあるが、その一方で、

2日間と短い期間ではありましたでしたが、全国の私鉄の仲間が一つに集まる場に自分も参加でき、大変充実した2日間となりました。この貴重な経験を今後の組合活動に活かしていきたいと思います。

今回の大会代議員として参加して、大変貴重な経験をさせていたしました。私は現在、女性委員の任についていますが、まだ分からぬことも多いため、定期大会やこだきました。私は現在、女性委員の任についていますが、まだ分からぬことをお聞かせください。

今回の参加で多くのことを学ばせていただきました。この経験を生かし、より一層今後の組合活動に精進したいと感じました。

■開催日…7月8日(水)・9日(木)
■場所…加賀市文化会館(石川県加賀市)
■参加者…佐田委員長、緒方副委員長、古賀孝治書記長、吉田分会长(博多)、坂本分会长(筑紫乗務)、藤原分会长(国物中央)、待鳥女性委員(筑紫乗務)
■藤原分会长(国物中央)、待鳥女性委員(筑紫乗務)

□発行所/福岡市中央区大手門1丁目4番16号
TEL092-771-2931
西日本鉄道労働組合
□編集発行者/渡辺裕二
定価 1部 30円 送料共
(この新聞は組合費の中から購読料を徴収しています。)

2015年度運動方針、「森屋たかし」必勝に向けた決議などを決定



いる。走行環境改善については、引き続き自治体議員団と協力して取り組んでいただきたい。また、要請項目としてあげていただきたい。

大会冒頭の挨拶の中で、藤井中央執行委員長は、「第24回参議院議員選挙では、私鉄総連組織内候補である森屋たか氏の当選に向けて、全力で取り組んでいこう」と、力強く述べられました。私鉄で働く全員の仲間が一体となって、私たちの代表を国会に送り出すことが、交通政策や労働条件の改善につながっていくことを改めて認識すると同時に、来年の夏までしっかりと取り組みを進めいかなければならぬとの思いを強くしました。その後の「2015年度運動方針(案)」の審議では、各単組の代議員から積極的に活発な質問、意見、要望が出され、代議員の方々の迫力に驚きました。西鉄労組からも山本自劔部長がバリアフリー関連の質問を、坂本分会长が第三者暴力行為に関する質問を行い、総連執行部から答弁を受けました。大会の最後には、参加者全員で「団結ガンバロー」を三唱し、盛大な拍手の中、閉会しました。

大会会場には、南は沖縄、北は北海道まで全国各地から私鉄の仲間が集結しており、改めて私鉄総連の規模の大きさを感じました。冒頭の挨拶で特に印象に残った話は、戦後70年の節目を迎える今年、安全確保関連法案が改正されようとしているという話でした。この改正案は、私たちの生活だけではなく、命を脅かす危険性があるので、今まで築いてきた平和国家の日本を守り続けるためにも、断固として反対していかなければなりません。また、古賀私鉄総連会長が10月をもって退任されるとのことで、残りの3ヶ月、私たちができる限りの協力をとして反対していかなければならないと思いました。2日目は、運動方針(案)に関する質疑応答が行われました。その中でも春闘については特に激しい議論が交わされました。各組合からは、定昇2%を目指しているが達成できていないことや、スト権投票率は上がっているものの其闘意識が低いままであることにについてなど、様々な質問や意見が出されました。西鉄労組からも、私が所属する筑紫乗務分会在場の坂本分会长が質問に立ち、第三者暴力行為に対する対策について要望を出しました。

私は今回、初めての参加でした。全国各地から多くの仲間が集結している本大会に改めて私鉄総連の規模の大きさを認識しました。初日の藤井中央執行委員長の挨拶は、東日本大震災、15春闘、安倍政権による集団的自衛権行使容認、第18回統一自治体地方選挙、来年の参議院選挙など、非常に内容が濃いお話をしました。その中でも特に印象に残っているのが、来年の参議院選挙についてです。「私鉄総連として背水の陣を敷き、もし方が「森屋たかし」を落選させるようなら、これが私鉄全体で交通政策を語る資格はない」という言葉に、来年の選挙に対する並々ならぬ強い思いをひしひしと感じました。また、森屋たかし候補の演説では、ゆっくりと、力強い口調で私鉄を取り巻く現状、さらには来年の選挙に対する意気込みが語られ、凄まじい覚悟で臨んでいることが分かりました。来年の選挙は半可な気持ちで戦い抜くことはできません。藤井分会长や森屋たかし候補のように、各分会在も今まで以上に、各分会在も今まで以上に覚悟も持つて臨まなければならぬと強く感じました。

2日目は質疑応答の時間が大半を占めました。参加者から様々な質問が飛び交う中で、総連執行部の答弁が分かりやすくなり、大変勉強になりました。

今回の参加で多くのことを学

私たちの代表を、必ず国会へ

視野を広げ、女性が働きやすい職場に

来年の参院選、観察をもって臨む

私は今回、初めての参加でした。全国各地から多くの仲間が集結している本大会に改めて私鉄総連の規模の大きさを認識しました。初日の藤井中央執行委員長の挨拶は、東日本大震災、15春闘、安倍政権による集団的自衛権行使容認、第18回統一自治体地方選挙、来年の参議院選挙など、非常に内容が濃いお話をしました。その中でも特に印象に残っているのが、来年の参議院選挙についてです。「私鉄総連として背水の陣を敷き、もし方が「森屋たかし」を落選させるようなら、これが私鉄全体で交通政策を語る資格はない」という言葉に、来年の選挙に対する並々ならぬ強い思いをひしひしと感じました。また、森屋たかし候補の演説では、ゆっくりと、力強い口調で私鉄を取り巻く現状、さらには来年の選挙に対する意気込みが語られ、凄まじい覚悟で臨んでいることが分かりました。来年の選挙は半可な気持ちで戦い抜くことはできません。藤井分会长や森屋たかし候補のように、各分会在も今まで以上に、各分会在も今まで以上に覚悟も持つて臨まなければならぬと強く感じました。

2日目は質疑応答の時間が大半を占めました。参加者から様々な質問が飛び交う中で、総連執行部の答弁が分かりやすくなり、大変勉強になりました。

今回の参加で多くのことを学

ばせていただきました。この経験を生かし、より一層今後の組合活動に精進したいと感じました。

大会冒頭の挨拶の中で、藤井中央執行委員長は、「第24回参議院議員選挙では、私鉄総連組織内候補である森屋たか氏の当選に向けて、全力で取り組んでいこう」と、力強く述べられました。私鉄で働く全員の仲間が一体となって、私たちの代表を国会に送り出すことが、交通政策や労働条件の改善につながっていくことを改めて認識すると同時に、来年の夏までしっかりと取り組みを進めいかなければならぬとの思いを強くしました。その後の「2015年度運動方針(案)」の審議では、各単組の代議員から積極的に活発な質問、意見、要望が出され、代議員の方々の迫力に驚きました。西鉄労組からも山本自劔部長がバリアフリー関連の質問を、坂本分会长が第三者暴力行為に関する質問を行い、総連執行部から答弁を受けました。大会の最後には、参加者全員で「団結ガンバロー」を三唱し、盛大な拍手の中、閉会しました。

大会会場には、南は沖縄、北は北海道まで全国各地から私鉄の仲間が集結しており、改めて私鉄総連の規模の大きさを感じました。冒頭の挨拶で特に印象に残った話は、戦後70年の節目を迎える今年、安全確保関連法案が改正されようとしているという話でした。この改正案は、私たちの生活だけではなく、命を脅かす危険性があるので、今まで築いてきた平和国家の日本を守り続けるためにも、断固として反対していかなければなりません。また、古賀私鉄総連会長が10月をもって退任されるとのことで、残りの3ヶ月、私たちができる限りの協力をとして反対していかなければならないと思いました。2日目は、運動方針(案)に関する質疑応答が行われました。その中でも春闘については特に激しい議論が交わされました。各組合からは、定昇2%を目指しているが達成できていないことや、スト権投票率は上がっているものの其闘意識が低いままであることにについてなど、様々な質問や意見が出されました。西鉄労組からも、私が所属する筑紫乗務分会在場の坂本分会长が質問に立ち、第三者暴力行為に対する対策について要望を出しました。

私は今回、初めての参加でした。全国各地から多くの仲間が集結している本大会に改めて私鉄総連の規模の大きさを認識しました。初日の藤井中央執行委員長の挨拶は、東日本大震災、15春闘、安倍政権による集団的自衛権行使容認、第18回統一自治体地方選挙、来年の参議院選挙など、非常に内容が濃いお話をしました。その中でも特に印象に残っているのが、来年の参議院選挙についてです。「私鉄総連として背水の陣を敷き、もし方が「森屋たかし」を落選させるようなら、これが私鉄全体で交通政策を語る資格はない」という言葉に、来年の選挙に対する並々ならぬ強い思いをひしひしと感じました。また、森屋たかし候補の演説では、ゆっくりと、力強い口調で私鉄を取り巻く現状、さらには来年の選挙に対する意気込みが語られ、凄まじい覚悟で臨んでいることが分かりました。来年の選挙は半可な気持ちで戦い抜くことはできません。藤井分会长や森屋たかし候補のように、各分会在も今まで以上に、各分会在も今まで以上に覚悟も持つて臨まなければならぬと強く感じました。

2日目は質疑応答の時間が大半を占めました。参加者から様々な質問が飛び交う中で、総連執行部の答弁が分かりやすくなり、大変勉強になりました。

今回の参加で多くのことを学

ばせていただきました。この経験を生かし、より一層今後の組合活動に精進したいと感じました。

大会冒頭の挨拶の中で、藤井中央執行委員長は、「第24回参議院議員選挙では、私鉄総連組織内候補である森屋たか氏の当選に向けて、全力で取り組んでいこう」と、力強く述べられました。私鉄で働く全員の仲間が一体となって、私たちの代表を国会に送り出すことが、交通政策や労働条件の改善につながっていくことを改めて認識すると同時に、来年の夏までしっかりと取り組みを進めいかなければならぬとの思いを強くしました。その後の「2015年度運動方針(案)」の審議では、各単組の代議員から積極的に活発な質問、意見、要望が出され、代議員の方々の迫力に驚きました。西鉄労組からも山本自劔部長がバリアフリー関連の質問を、坂本分会长が第三者暴力行為に関する質問を行い、総連執行部から答弁を受けました。大会の最後には、参加者全員で「団結ガンバロー」を三唱し、盛大な拍手の中、閉会しました。

大会会場には、南は沖縄、北は北海道まで全国各地から私鉄の仲間が集結しており、改めて私鉄総連の規模の大きさを感じました。冒頭の挨拶で特に印象に残った話は、戦後70年の節目を迎える今年、安全確保関連法案が改正されようとしているという話でした。この改正案は、私たちの生活だけではなく、命を脅かす危険性があるので、今まで築いてきた平和国家の日本を守り続けるためにも、断固として反対していかなければなりません。また、古賀私鉄総連会長が10月をもって退任されるとのことで、残りの3ヶ月、私たちができる限りの協力をとして反対していかなければならないと思いました。2日目は、運動方針(案)に関する質疑応答が行われました。その中でも春闘については特に激しい議論が交わされました。各組合からは、定昇2%を目指しているが達成できていないことや、スト権投票率は上がっているものの其闘意識が低いままであることにについてなど、様々な質問や意見が出されました。西鉄労組からも、私が所属する筑紫乗務分会在場の坂本分会长が質問に立ち、第三者暴力行為に対する対策について要望を出しました。

私は今回、初めての参加でした。全国各地から多くの仲間が集結している本大会に改めて私鉄総連の規模の大きさを認識しました。初日の藤井中央執行委員長の挨拶は、東日本大震災、15春闘、安倍政権による集団的自衛権行使容認、第18回統一自治体地方選挙、来年の参議院選挙など、非常に内容が濃いお話をしました。その中でも特に印象に残っているのが、来年の参議院選挙についてです。「私鉄総連として背水の陣を敷き、もし方が「森屋たかし」を落選させるようなら、これが私鉄全体で交通政策を語る資格はない」という言葉に、来年の選挙に対する並々ならぬ強い思いをひしひしと感じました。また、森屋たかし候補の演説では、ゆっくりと、力強い口調で私鉄を取り巻く現状、さらには来年の選挙に対する意気込みが語られ、凄まじい覚悟で臨んでいることが分かりました。来年の選挙は半可な気持ちで戦い抜くことはできません。藤井分会长や森屋たかし候補のように、各分会在も今まで以上に、各分会在も今まで以上に覚悟も持つて臨まなければならぬと強く感じました。

2日目は質疑応答の時間が大半を占めました。参加者から様々な質問が飛び交う中で、総連執行部の答弁が分かりやすくなり、大変勉強になりました。

今回の参加で多くのことを学

ばせていただきました。この経験を生かし、より一層今後の組合活動に精進したいと感じました。

